

# 岩手教区報

第318号  
 立教182年6月1日  
 天理教岩手教務支庁  
 盛岡市馬場町3番40号  
 TEL 019-622-7962  
 FAX 019-623-9597

婦人会創立110周年会員決起の集いを、今月から教区内4会場で開催します。本集いの趣旨は、会員一人一人が陽気ぐらしを目指し、婦人会員としての自覚をもって活動方針を実行して、実のようばくに育つことです。そして、進んで教会につながり、日々教えを身につけ、家族や周りの方達にも積極的に伝え広めて、来年の創立110周年記念総会には、多くの会員の結集を目指そうというものです。

10年前、創立100周年の決起の集いの時、私は鈴木教区主任(当時)のもとで、会場担当を務めました。私も1回目の会場で、「とても感激しました。私も

これからの頑張らせて頂きます」と、涙をためて話される70代の参加者の感想は、その後の「集い」を一杯つとめようという、私の原動力となりました。

この10年間を振り返りますと、私自身も周りも大きな変化がありました。まず、教区主任の立場を頂いた事。親の出直しや子どもたちの結婚、そして東日本大震災。喜びも悲しみも、また悩みも多々あり、心の変化もありました。「決起の集い」が10年に一度の開催である事を思う時、率先参加して、親神様、教祖の教えをあらためて求め、陽気ぐらしの台としての心を育てさせて頂く絶好の旬と言えるでしょう。是非このチャンス逃がさずことなく、教区内の全婦人会員に参加して頂けるよう、声を掛け続けましょう。そして、岩手教区内どの教会も、賑やかな笑い声が聞こえるようにならせて頂きたいと思えます。

県外の会員には、日時と会場を記入した参加票とお誘いの手紙を書いて郵送し、必ず連絡をとって頂きますようお願い致します。

決起の集いは婦人会員だけで開催する事は出来ません。会長様方はじめ皆様のご協力が必要不可欠です。何卒お力添えの程宜しくお願い申し上げます。

**成人目標**  
 ひながたをたどり 陽気ぐらしの台となりましょう

**活動方針**  
 ご恩報じを念じ 実(まこと)のようばくに育つ

一、教えを学び 身につける

一、身近な人を実のようばくに育てる

一、百万会員を目指してにをいかけ・おたすけに励む

**創立110周年を目指して**  
 一人が二人の会員をご守護頂きましょう



この旬に  
 み教えを求めて  
 ー 創立110周年 会員決起の集い ー  
 婦人会主任 加藤 早苗



## 「徳と運命」

日本ハムの栗山英樹監督が某誌の対談で語っていた事である。野球には「運イコール、人としての徳」という要素が強く、人生にも野球にも必死となり、神様に認めて貰えるほど、がむしやらにならないと、運は味方してくれない。野球も人間としての徳がなかったら伸びないという私の信念を伝えるため、新しく入団した選手全員に私の愛読書を渡し、熟読させ、野球以外のところで選手が育つヒントを見つけられるように努力していると云う。新人教育に於いて、今や時の人である大谷翔平選手(花巻東高校卒)について、「監督の私が特別に何かをしたから育ったというわけではない。真白な感覚で彼を見た時、投打においても、彼

は絶対、世界に通用することは確かであり、二刀流でも十分いけるといふ確信もあったが、私だけの感覚で彼の可能性を閉ざすような事だけはあってはならないと、技術的な事は殆ど翔平に任せていた。しかし、大切な事は、人間として成長していけば野球選手としても成長していくという手本を明確に示してくれたのが翔平だったと言う。又、彼は根っからの野球好きで、「野球が上手くなるためなら何でもやる」という確たるスタンスを持っていたので、人間学を含め、彼の成長のためには球団としてやれる限りの事はやってきた。だからといって、球団として決して無理強いしなかった。今、自分が監督として最も心がけている事は、指導者としての勉強だと言う。それは、選手を人間的に成長させてやるためには、監督自身が人間として彼らより何倍もより大きくなるよう、先人の心、生き方を求め学ばねばならないと言う。

徳は一つの教えを学び、日々実践する中に、将来現れて来る可能性を含んだ種、原因である。徳次第によっては運命が向上して来る事であるから、徳は実践する

- その人の心身、魂に与わるものと信じて、我々も又、利他、救済の信心を基に、目に見えぬ徳積みにも勤め励みたいものである。
- 【陽気ぐらし講座】開催予定(6月分)  
 奥州支部(講師 藤田文雄・夕張大教会長)  
 6月29日(土) 10時 金ヶ崎町中央生涯教育センター  
 13時半 岩栄原分教会
- 【ようばく成人講座】開催予定(6月分)  
 花巻 6月16日(日) 13時半 浜洋分教会
- 【6月分】
- 行事予定**
- 1日 少年会例会(12時)
  - 学生担当委員会例会(18時30分)
  - 2日 主事会(9時)
  - 学生層育成者講習会(10時)
  - 役員会議(11時)
  - 9日 女子青年グループリーダー親睦会
  - 婦人会「会員決起の集い」(10時 於宮古港分)
  - 13日 婦人会例会(10時30分)
  - 22日 青年会例会(18時)
  - 30日 婦人会「会員決起の集い」(10時 於浄法寺分)

会員8人が参加した。

「夏の集い」の分科会である「おやのことばに学ぶ」の講師を長年勤められている岡田先生は、職域布教の大切さから始まった同集いの長年の動きをふり返られた。続いて、機関紙『なるほどの人』の内容にふれ、なるほどの人とは何かを、視点をしばってわかりやすく話された。



道の教職員

員の集いは、5月11日教務支庁を会場に、天理大学宗教学科教授岡田正彦先生をお迎えして、「第44回総会」を開催

「第44回総会」開催報告

道の教職員の集い



災害救隊

「東北・北海道ブロック訓練」参加報告

岩手教区災救隊は、5月29日から31日にかけて、秋田県男鹿市での東北・北海道ブロック訓練に参加した。

28日、隊員は17時に教務支庁に集合して、資材を積み込み、翌29日6時30分加藤教区長の激励挨拶の後、バスにて出発した。10時、宿営地の男鹿市なまはげオートキャンプ場に到着し、早速テントを設営した。昼食後、午後1時からの結隊式で、中田善亮表統領の主催者挨拶があり、「ブロック訓練は、各教区で行なっている訓練に一味添えて、教



区間の連携を図り、有事の際にはスムーズに救援活動が出来るよう務めて頂きたい」と話された。続いて、金田勝年衆議院議員の祝辞と菅原広二男鹿市長の歓迎の挨拶があった。



結隊式終了後、車でひのきしん現場の寒風山へ出発。岩手教区隊は、青森、宮城、山形と同じ場所での草刈り作業で、岩や木などがあつて足場が悪く、大変危険な作業だった。2日目の30日は終日草刈り作業。最終日31日は、テントの撤収も早々に済ませて、全員でひのきしん現場へ。寒風山はなだらかな稜線が続き、頂上から360度見渡せる素晴らしい山で、世界三景となっている。

11時より解散式が行なわれ、田中勇文本部長の挨拶に続き、佐々木正明秋田教

教区婦人会は、去る5月12日、教務支庁を会場に「婦人会后継者勉強会」を実施し、27人が参加した。

さわやかな天候のもと午前10時に開会。加藤早苗主任の挨拶の後、士別分教会長岩井喜市郎先生のビデオ講話を視聴した。女性の「火の理、産み育ての徳分」につ



婦人会

「後継者勉強会」開催報告



区長の犒いの挨拶、柏崎潤一男鹿市総務企画部長の御礼の挨拶があった。結隊式終了後、昼食の弁当を頂き岩手に向け出発。16時30分教務支庁に帰着した。

期間中好天に恵まれ事故もなく、無事務めさせて頂いた。

各支部参加人数は次の通り。

- 九戸3 二戸2 盛岡1 花巻3
- 奥州6 東磐2 気仙1 計18人



いてわかりやすい内容で、女性としての心遣いに改めて気づかせて頂いた。

次のフリートークでは二つの班に分かれて、講話の感想や互いの近況を語り合った。午後は、持ち寄られた品々にて物々交換会を行い、コーヒーを飲みながら楽しく会話する時間ともなった。



「婦人会員決起の集い」開催予定(6月分)

- 6月9日(日)午前10時 宮古港分教会
- 6月30日(日)午前10時 浄法寺分教会

計報

三浦はる (97歳)  
三陸支部・鉾崎分教会長  
令和元年5月12日出直された。